



平成17年10月18日

各 位

会 社 名 ジーエルサイエンス株式会社
 代 表 者 名 取締役社長 森 憲 司
 (コード番号：7705東証第二部)
 問 合 せ 先 取締役総務部長 高橋 良 彰
 (T E L 03-5323-6633)

平成18年3月期中間期業績予想の修正について

最近の業績の動向等を踏まえ、平成17年5月13日付当社「平成17年3月期決算短信(連結)」および同日付当社「平成17年3月期個別財務諸表の概要」にて公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成18年3月期 中間期連結業績予想の修正(平成17年4月1日～平成17年9月30日)
 (単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回発表予想(A)	8,648	438	221
今回修正予想(B)	7,617	706	402
増 減 額 (B - A)	1,031	268	180
増 減 率 (%)	11.9	61.2	81.1
(ご参考) 前期実績(平成17年3月期中間期)	8,619	603	327

2. 平成18年3月期 中間期個別業績予想の修正(平成17年4月1日～平成17年9月30日)
 (単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回発表予想(A)	6,625	570	343
今回修正予想(B)	5,911	923	530
増 減 額 (B - A)	714	353	187
増 減 率 (%)	10.8	62.0	54.5
(ご参考) 前期実績(平成17年3月期中間期)	6,617	655	420

3. 修正理由

修正理由につきましては、個別・連結の順で記載しております。

(1) 平成18年3月期 中間期個別業績予想の修正について

売上高につきましては、非接触ICカード事業は順調に推移したものの、分析機器事業では、競争の激化等のため、他社製高額装置のみでなく自社製品の販売も計画を下回る見込みであり、業績予想の下方修正が必要となりました。

利益につきましては、消耗品を中心に自社製品比率を引き上げることができたことに加え円安による為替予約評価益を計上することもあり、経常利益、中間純利益ともに期初計画を上回る業績となる見込みであります。

(2) 平成18年3月期 中間期連結業績予想の修正について

上記個別中間業績予想の修正のほか、当社子会社テクノークオート株式会社（コード番号：5217）が、本日（平成17年10月18日）発表のとおり、半導体デバイスメーカーの設備投資の減速等から業績予想の若干の下方修正を余儀なくされており、ATAS GL International B.V.も計画を下回る業績見込みのため、連結の売上高、経常利益、中間純利益につきましても業績予想を修正いたします。

なお、通期業績予想につきましては、現在見直し中であり、今後の経済情勢、市場動向等を検討の上、中間決算発表時（平成17年11月11日予定）に公表させていただきます。

注：上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。従いまして実際の業績はこれらの予想と異なる可能性があります。

以 上